

「パートナーシップ構築宣言」

当金庫は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

- 地域における共存共栄モデルの浸透に向けて、取引先や顧客への周知・啓発を行うとともに、規模・系列・Tier・地域を超えた企業間の連携が促進されるよう支援を行います。

当金庫は「協心協働」の指針のもと、アフターコロナを見据えて、総代、お取引先、地方創生・地域活性化に取組む地域の関係機関の皆様とのパートナーシップを通じた事業活動の強化により、地域における共存共栄の実現に努めます。

- 目利き力向上による「事業性評価」の取組みを推進し、経営改善、事業承継、M&A、BCP（事業継続計画）策定等の支援を行うとともに、地域におけるネットワークを活かしたマッチング機能を発揮して、経営人材確保支援や地域における連携促進の支援を進めます。

当金庫は、お取引先事業者の事業承継、M&A、販路拡大、人材確保等に関する課題を把握し、外部専門機関とも連携のうえ対応いたします。

2. その他

当金庫は、2020年4月に「やましんSDGs宣言」を表明し、地域社会とともに持続的に成長していくことを目指しております。SDGsの目標17「パートナーシップで目標を達成しよう。」について、この「パートナーシップ構築宣言」に基づく活動を行います。

2021年3月3日

山梨信用金庫

理事長 五味 節夫